

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒450-0002  
名古屋市中村区名駅四丁目19-1

E-mail : [sasashima-j@nagoya-c.ed.jp](mailto:sasashima-j@nagoya-c.ed.jp)

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 49 名 女子 44 名 合計 93 名  
児童・生徒の年齢 12 歳～ 14 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

「地域の文化遺産を用いた郷土学習」と「国際理解に関する学習」への取り組みを継続しながら、今年度は特に、前者への取り組みを中心とした。

#### ○ 地域の文化遺産を用いた郷土学習

##### ア お囃子体験

6月には、総合的な学習の時間において、学区にある二福神車（にふくじんしゃ）、紅葉狩車（もみじがりしゃ）、唐子車（からこしゃ）という3つの山車保存会の方々を招き、お祭りの時に演奏されるお囃子の体験を全校で行った。

##### イ 山車・からくり人形見学会

10月には、地域の祭礼に向けて飾り付けがされた山車を見学し、保存会の方に、山車やからくり人形について話を聞く会を行った。山車やからくり人形のしくみや歴史、また、伝統を守ろうとする気持ちや困難さについて聞くことができた。

##### ウ 学習成果の発表

お囃子体験、山車・からくり人形見学会の後、生徒それぞれが、学習をしたことや感じたことなどを報告書にまとめ発表をした。

#### ○ 国際理解に関する学習

総合的な学習の時間において、全校生徒で野外民族博物館リトルワールドを訪問し、グループに分かれて体験活動を通じた国際理解学習を行った。

各グループで事前に検討した国や地域の民族衣装を調べて試着をしたり、食物を試食したり、特徴のある住居について調べたりした。また、事後には学習した内容を報告書にまとめ、発表を行った。

#### ○ 実践の成果

生徒はお囃子体験をしたり、山車やからくり人形にふれたりするなどの貴重な体験を通して、地域や郷土に残る伝統文化について学習することができた。また、伝統文化を後世に伝えようとする山車保存会の方の強い思いや苦労話を聞くことで、「地域の伝統を守っていきたい」という気持ちをもつことができた。このことから生徒は地域や郷土に対する誇りを持ち、郷土を愛する心が少しずつ育ってきていると考える。

国際理解学習では、衣食住などの体験を通して、人はそれぞれ背景に様々な文化があることを感じとることができた。帰りのバスの中では、互いの文化の違いについて語り合う生徒の姿が見られるようになった。

#### ○ 今後の課題

本校では、全校生徒にそれぞれの保存会の山車やからくり人形、お囃子の良さを感じてほしいということから、全校を異学年混合の3グループに分け、3年間を通してすべての保存会について学ぶことができるように見学会や体験を実施してきた。しかし、それぞれの保存会の特色の違いまでは生徒にとって理解しにくく、毎年の学習が似通ったものになってしまい、あまり発展性がないものになってしまっている。そのため、新しい郷土学習のカリキュラム編成が必要であると考えます。

また国際理解学習については、学習時間の確保の面から、現状では継続的な取り組みが難しい状況にある。様々な文化を背景にもつ生徒同士が、お互いを理解し認め合い、更によりよい人間関係を築くことができるよう、効果的な指導のあり方を検討していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）